

住民アンケート調査結果の概要（1 / 2）

- 男女の偏りはなく、**40代～70代**の方々を中心にご回答いただきました。
- 普段の買い物先について、**遠いと感じている方と普通と感じている方**の割合が多い。
- 通勤・通学の手段は、**車**を利用している人が多いという結果になりました。

実施期間	令和5年9月29日（金）～10月20日（金）	配布方法	配達地域指定郵便
回収方法	【Web回答】Google Forms 【紙回答】回答用紙を庁舎に配置（紙回答希望者は来庁の上、記入する形）	配布数	3,334通
		回収数	691通
対象	田原地区住民	回収率	20.7%

基礎情報

■ 性別

選択肢	回答数	%
男	348	50.4%
女	327	47.3%
答えたくない	16	2.3%

■ 年齢

選択肢	回答数	%
80代以上	33	4.8%
70代	130	18.8%
60代	142	20.5%
50代	166	24.0%
40代	138	20.0%
30代	53	7.7%
20代	17	2.5%
10代	2	0.3%
答えたくない	10	1.4%

日常生活行動

■ 普段の買い物先

選択肢	回答数	%
アカカベ薬局（田原店）	307	44.4%
オークワ（生駒上町店）	207	30.0%
万代（生駒店）	191	27.6%
イオンモール（四條畷店）	182	26.3%
業務スーパー（生駒店）	178	25.8%
ハーベス（白庭台店）	165	23.9%
近鉄百貨店（生駒店）	123	17.8%
イオンモール（登美ヶ丘店）	108	15.6%
ならコープ（いこま店）	101	14.6%
生協の宅配	99	14.3%
いそかわ（新生駒店）	92	13.3%
近商（新生駒店）	83	12.0%
ラ・ムー（奈良二名店）	55	8.0%
大阪パルコープ（忍ヶ丘店）	21	3.0%
四條畷市内の商店街	17	2.5%
ネットスーパー	12	1.7%
KOHYO（東生駒店）	9	1.3%
ハーベス（東生駒店）	7	1.0%
生駒市内の商店街	5	0.7%
無回答	0	0.0%

■ 普段の買い物先への距離の感じ方

選択肢	回答数	%
遠い	307	44.4%
普通	287	41.5%
近い	49	7.1%
とても遠い	45	6.5%
とても近い	2	0.3%
無回答	1	0.1%

■ 通勤・通学の手段

選択肢	回答数	%
車	348	50.4%
バス（奈良交通）	93	13.5%
その他	85	12.3%
電車	70	10.1%
コミュニティバス	50	7.2%
徒歩	16	2.3%
通勤・通学はせずオンライン	16	2.3%
無回答	13	1.9%

住民アンケート調査結果の概要（2 / 2）

- 余暇には、**四條畷市外に外出する人が多く**、また、外出先としては**商業施設やレストラン・カフェで過ごす人が多い**という結果になりました。
- よく利用する公共施設は、**図書館・学習施設**であり、不足していると感じる公共施設は**スポーツ施設等**が多い一方、**不足を感じていない人も多い**という結果になりました。
- 各公有地において期待する機能は、**公園、スポーツ施設等**であり、イベントとしては**マルシェ・フードフェスタ**が多いという結果になりました。

余暇に関する調査（一部抜粋）

■ 余暇の外出先（大枠）

選択肢	回答数	%
四條畷市外	454	65.7%
田原地域外（四條畷市内）	90	13.0%
外出しない	88	12.7%
田原地域内	56	8.1%
無回答	3	0.4%

■ 余暇の外出先（詳細）

選択肢	回答数	%
商業施設	462	33.7%
レストラン・カフェ	277	20.2%
公園や遊び場	155	11.3%
映画館等の娯楽施設	121	8.8%
スポーツ施設	100	7.3%
無回答	90	6.6%
図書館・学習センター	79	5.8%
博物館等の文化施設	50	3.6%
コミュニティセンター・公民館	38	2.8%

公共施設に関する調査（一部抜粋）

■ よく利用する公共施設

選択肢	回答数	%
図書館・学習施設	295	42.7%
文化施設・多目的ホール	96	13.9%
その他	96	13.9%
公民館・集会所	89	12.9%
スポーツ施設・体育施設	84	12.2%
子育て支援施設	15	2.2%
福祉施設	13	1.9%
無回答	3	0.4%

■ 現在不足していると感じる公共施設

選択肢	回答数	%
不足を感じていない	229	33.1%
スポーツ施設・体育施設	187	27.1%
文化施設・多目的ホール	81	11.7%
その他	59	8.5%
福祉施設	45	6.5%
図書館・学習施設	44	6.4%
子育て支援施設	37	5.4%
公民館・集会所	6	0.9%
無回答	3	0.4%

公有地に関する調査（一部抜粋）

■ 各公有地において期待する機能

選択肢	回答数	%
公園（アスレチック等含む）	145	21.0%
スポーツ施設・体育施設	132	19.1%
文化施設・多目的ホール	91	13.2%
その他	90	13.0%
芝生広場	69	10.0%
図書館・学習施設	61	8.8%
福祉施設	49	7.1%
子育て支援施設	45	6.5%
無回答	9	1.3%

■ 利用したいイベント

選択肢	回答数	%
マルシェ・フードフェスタ	230	33.3%
特になし	125	18.1%
フリーマーケット	102	14.8%
スポーツプログラム	91	13.2%
子供向けイベント	67	9.7%
農業体験	43	6.2%
その他	28	4.1%
無回答	5	0.7%

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

最終回
ニュースレター

第3回ワークショップ開催概要

「田原地域でどんなまちづくりができるかな？」
～これからの田原地域のまちづくりをみんなで企画しよう！～
をテーマにアイデアを出し合いました！

田原地域の未来を導き出すことを目的としたワークショップもいよいよ最終回を迎えました。第3回は、第2回で考えた田原地域の将来像を実現するために「今後すべきことは何か？」という視点のもと具体的な案について、4班に分かれて意見を出し合い、最終回は班ごとに中学生に発表いただきました。



日時：令和5年12月15日（金）15時～17時
会場：グリーンホール田原 なるなるホール
参加者：20名（中学生8名）市職員：2名 コンサル：4名

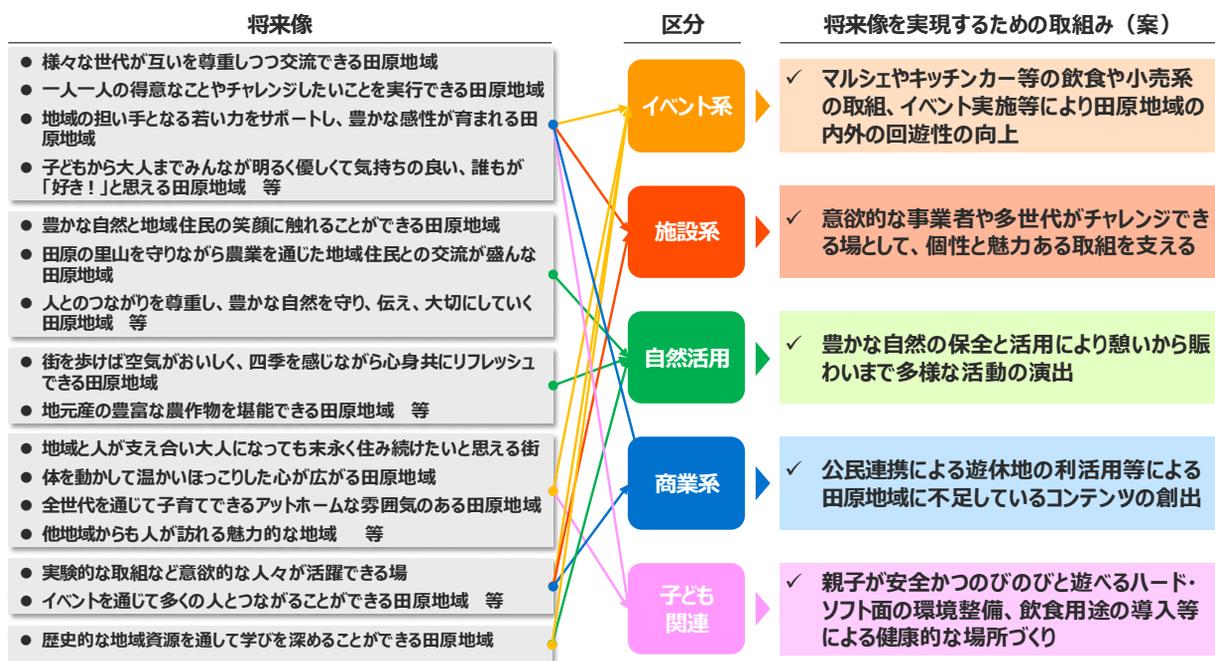


グループワーク：田原地域のまちづくりをみんなで企画しよう

発表・アイデアの共有

第3回ワークショップの結果概要

第2回ワークショップで考えた将来像とそれらを実現するためのきっかけとなる取組みについて、次のとおり整理しました。



第1回ワークショップの結果

田原地域を取り巻く課題として、「買い物などの日常生活の利便性が低い」「賑わいやまちの個性を感じにくい」「人との交流ができる場所の少なさ」「景観や雰囲気の暗さ」「子育て関連のサービス」に関する意見が目立ちました。

課題解決のための使い方や遊休地の使い方のアイデアについては、飲食やスポーツの場所づくりや地域資源を活用したイベント実施、安全かつ制約が少ないのびのびと遊べる環境整備等により、子どもからお年寄りまであらゆるターゲット層が賑わいと交流を創出させていくような使い方への関心が高い結果となりました。



第2回ワークショップの結果

良いところ・強みを踏まえ、将来像を整理すると場所の使い方や目的性などに特徴がみられました。

特に「人との交流やつながりを意識」「豊かな感性や自己実現を支える」「自然を活かした遊びや健康づくり」「子育てのしやすさ」「イベント等を通じた多世代交流の創出」「歴史資源を活かした田原地域らしさの醸成」等の実現・質の向上を志向する将来像がみられました。



ワークショップを踏まえた「今後の進め方」について

- 田原地域においては、複数の遊休地（公有地）が存在し、地域住民ニーズを把握しながら地域の活性化に寄与するための利活用を検討してきました。全3回のワークショップを通して、地域住民の皆様から得られた課題や将来像、まちづくり案を得ることができました。
- 今後は、遊休地（公有地）の利活用を検討する際に活用させていただき、具体的なまちづくりに落とし込んだ活用基本構想として取りまとめます。
- 活用基本構想を踏まえながら、具体的なまちづくり事業への契機となるよう、地域住民の皆様と連携を図りながら、まちづくりを推進していきます。

これまでのワークショップの「振り返り」

田原地域の未来を導き出すことを目的とした全3回のワークショップは地域住民のほか、中学校の生徒も参加いただきました。

中学生からは大人とは違う視点のアイデアを多く出していただき、中学生を中心に賑やかな雰囲気のなか議論することができました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。